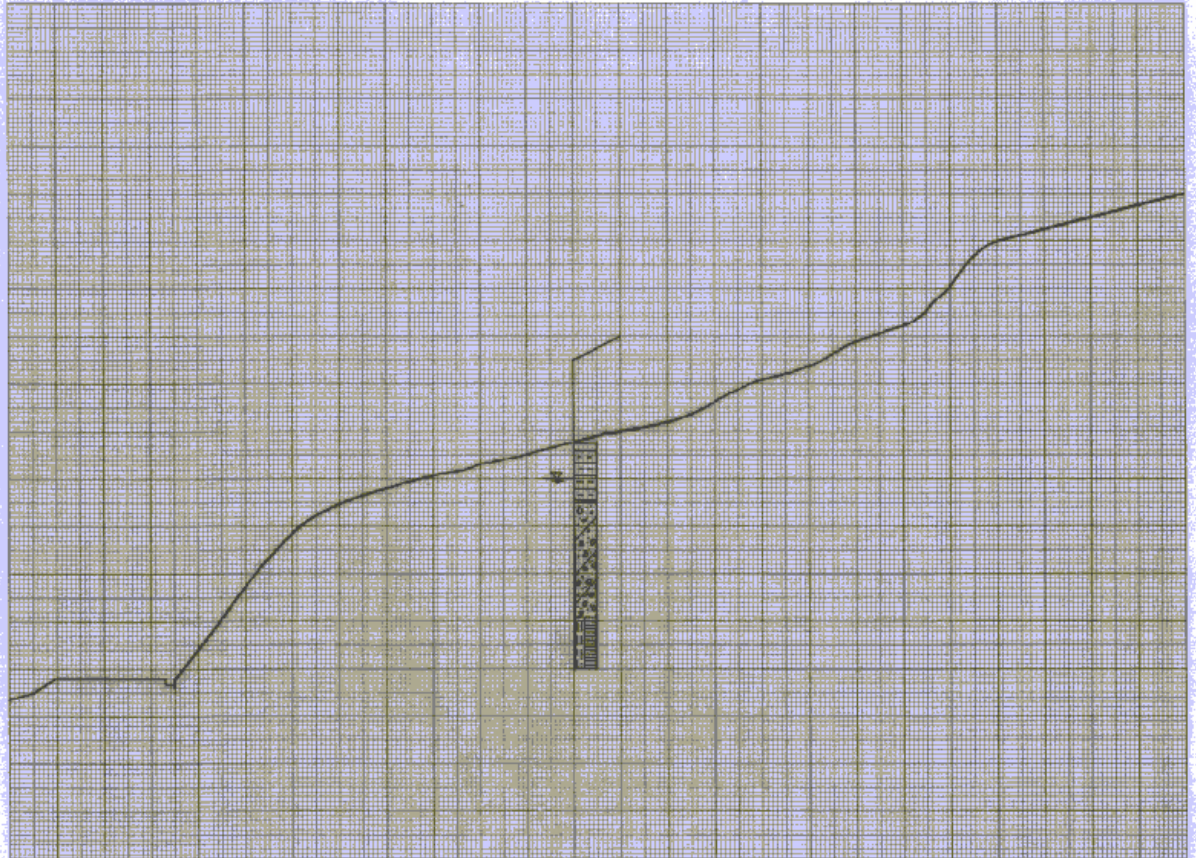


下図のような地すべり地において、

- ① 地形・ボーリングデータより、すべり面および地下水位を想定せよ。
- ② 逆算法にてせん断強度を推定せよ。ただし、仮定安全率は1.00とする。



(PDF版注記)

- 上記のような手書き断面図 (Scale=1:200) をもとに、手書きで土層線・水位線・すべり面を推定記入しました。推定に際してのコツなども講義しました。
- すべりブロックを細片分割し、スケールアップで計算データを読み取りました。分割のコツや効率的な読み取り作業の方法などを講義しました。
- スケール、鉛筆、集計用紙、分度器および電卓だけで逆算法による c 、 ϕ を求めるところまで実習しました。
- c 、 ϕ の仮設定のしかた、 c - ϕ 関係図の書き方と見方について講義しました。
- 集水ボーリングにより水位低下させた場合の安全率も試算しました。
- すべりブロック全長×平均的なすべり層厚として平行四辺形に近似し、ブロック分割せずに c 、 ϕ をざっと計算し、水位低下工法の効果がどの程度あるのかまで大雑把に計算するといった方法についても講義しました。